

JP153 万之瀬川河口（まんのせがわかこう）

鹿児島県：南さつま市

位置	N 31° 26′ E 130° 18′
面積	100ha

環境構成【干潟】

吹上海岸の南端に位置し、海浜の生態系維持に重要な役目を果たしている。万之瀬川河口内の泥質の干潟と海岸に広がる砂質の干潟がある。河口内の干潟には、県内最大規模のハマボウの植物群落と準絶滅危惧種のハクセンシオマネキなどのカニ類が多数生息しており、シギ・チドリ類の中継地や越冬地として貴重な自然が残っている。

クロツラヘラサギが毎年 20 羽近く越冬し、当地は鹿児島県内では、始良、出水とあわせて 3ヶ所のうち最大の個体数となっている。

選定理由

A1	クロツラヘラサギ
A4i	クロツラヘラサギ

保護指定

サイトの一部（10～49％）に法的な担保がある。

<保護指定の内容>

都道府県立自然公園（吹上浜県立自然公園）、自然環境保全地域

<その他>

国指定天然記念物 万乃瀬川河口域のハマボウ群落及び干潟生物群集

保全への脅威

- ・釣り客の立ち入り
- ・軽量飛行機の飛行
- ・観光客の干潟への立ち入り

保全活動

- ・環境教育活動
内容：探鳥会（日本野鳥の会かごしま県支部）
ハクセンシオマネキ観察会（万之瀬川の自然を守る会）

見られる鳥

万之瀬川河口は動物群豊かな重要な干潟でシギ・チドリ類、ガンカモ類、サギ類の越冬や渡来が多いところである。また周辺の松林は冬期の森林性の小鳥類の重要な越冬地であり、後背地の休耕田のヨシ原や水田には草原性のオオジュリンなどが見られる。春秋にはイスカやアカマシコの記録もある。

留鳥	ミサゴ、ハヤブサ、カツオドリ、アオサギ、コサギ、ダイサギ、シジュウカラ、カワラヒワ、ホオジロ、カワセミ
夏鳥	コサメビタキ
冬鳥	コガモ、マガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、カワウ、シロチドリ、ハマシギ
旅鳥	チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、オオソリハシシギ、ミユビシギ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、ミユビシギ、ヘラシギ
迷鳥	メジロガモ、カラフトアオアシシギ、イスカ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会かごしま県支部
- ・吹上浜海浜公園

